

事業所名		こっこ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念		ライフサポートでだこの使命は、沖縄の未来がより幸せである為に本業である福祉を軸にして熱い想いと行動で「あったらいいのに」を形にし、「出来たらいいのに」を実現することです。浦添市にこだわるからこそ、利用者の皆さまと深く関わり、細やかなケアを実現しています。「こっこ」では、子どもたちが地域の中で育ち、成長していけるように。また、保護者が安心して楽しく子育てできるようお手伝いします。													
支援方針		「地域の子どもたちを地域で育てる」を柱に、遊びを通して人や環境とつながる心地よさや楽しみを感じ、子ども・家庭・地域と「共に育ちあう」ことを大切にして支援を行っていきます。また、（医療的ケアが必要な子どもも含め）子どもが子どもらしく豊かな生活文化・自然・社会体験を積み重ねていき、のびのびと楽しみながら心身の発達を促せるように支援していきます。													
営業時間			9 時	30 分	から	16 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	子どもの表情や行動、健康状態を観察して、心身の調子を把握し、共有する。 医療的ケアが必要な子どもに対しては、医師の指示書にしたがって医療を提供し安心して過ごせるようにする。 食に興味を持ち、介助を受けながらも「おいしいな、自分で食べてみよう」と意欲が出るように楽しい雰囲気を作る。 睡眠・排泄等一人ひとりの生活リズムを大切にしながら快適に過ごせるようにし、身の回りのことに興味を持ち「自分で！」という気持ちが芽生え、やってみようと思える環境を作る。													
	運動・感覚	一人ひとりの発達段階を把握し、運動機能が発達するように全身遊びを促す。外遊びを十分に行い、のびのびと体を動かすことを楽しめるようにする。 ストレッチで心身の触れ合いを楽しみリラックスさせたり、いろいろな動きを経験する。 感触遊びを通して、いろいろな感触に気づく体験をする。													
	認知・行動	身近な自然や動植物に親しみを持てるような機会をつくり、自然の不思議や美しさに気づき、そこから得られた子どもの驚きや感動を大切にしていく。 自分で好きな遊びを見つけ、十分に遊びこめるようにする。 見たもの・聞いたもの、経験したことをのびのびと絵や工作等で表現できるようにする。													
	言語 コミュニケーション	絵本や歌遊び、指遊びを通してたくさんの言葉に触れ、言葉や指さし、サイン、視線等でやり取りを楽しめるようにする。 あいさつや生活に必要な言葉がある程度わかるように援助する。													
	人間関係 社会性	支援者と信頼関係を築き、状況に応じて支援者が子どもの気持ちを代弁し、友だち関係ができるように支援していく。 ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを通して、友だちとの関わりを築くようにしていく。													
家族支援		保護者の子育てを支え、子どもの成長の喜びを共有する。 送迎時やLINEを活用しながら、日々のコミュニケーションを大切にし、保護者との信頼関係を築いていく。 一人ひとりの保護者の状況や意向を理解して受け止め、相談、アドバイスを行い、養育力を支える。						移行支援		就学（就園）先と連携を図り、「子どもの育ち」をつなげるように情報共有をしていく。 こども園交流や学校行事の見学等と通じて、就学（就園）のイメージが持てるように支援する。 併設する放課後等デイサービスの交流を行い、小学校の紹介や疑似体験を行い、イメージが持てるようにする。					
地域支援・地域連携		近隣こども園との交流（園庭解放、運動遊び、季節の行事等）、地域児童センター、図書館（読み聞かせ会等）、高齢者デイサービス交流会、他関係事業所との交流、学生ボランティア、地域交流など						職員の質の向上		新人研修 会社全体研修（法令遵守、身体拘束と虐待防止、ハラスメントとプライバシー保護、防災、感染対策、事故と再発防止等） 自己評価（事業の振り返り） 子どもの状況に応じてケース検討会、内部研修、勉強会を実施					
主な行事等		季節の行事、親子夏まつり、親子運動会、こっこウォーク&もちつき会、保護者交流会、地域や地域事業所（保育園、児童センター、図書館、高齢者施設等）の交流会や行事参加など													